

スイートピー新品種「紀州ピー2号（キャンドル・ピンク）」と「スイートルージュ」の育成

1. はじめに

和歌山県のスイートピー栽培面積は全国2位で、これまでも消費者ニーズに応えるためにオリジナル品種育成に取り組んできました。今回、「紀州ピー1号（通称：ブライダル・ピンク）」に加え、新たに2品種を育成しましたので紹介します。

2. 育成経過

冬咲きで落蕾が少なく、生産性の高い品種を育成するため、1995年4月に「アーリー・ホワイト」（冬咲き・白色）と「ミセス・ダグラス・マッカーサー」（冬咲き・サーモンピンク、以下「マッカーサー」）の組合せと、「アメリカン・ビューティー」（冬咲き、濃赤ピンク）と「アーリー・ホワイト」（冬咲き、白色）の組み合わせで交雑を行い、冬咲きで「マッカーサー」より淡いサーモンピンクの個体と、旗弁と翼弁の色が異なる覆色の個体を選抜しました。その後、5年間かけて形質を固定し、淡いサーモンピンクの系統を「紀州ピー2号（通称：キャンドル・ピンク）」、覆色の系統を「スイートルージュ」として品種登録申請を行い、2003年3月31日に申請を受理されました。

3. 新品種の特性

- (1) 「紀州ピー2号」の花色は、淡いサーモンピンクで優しいパステル調です。
- (2) 「スイートルージュ」の特徴は、旗弁が赤味ピンクで翼弁がピンク白と花弁の色が異なる覆色です。
- (3) 「紀州ピー2号」の開花・生育特性は、「マッカーサー」や「アーリー・ホワイト」とほぼ同じです（表1）。
- (4) 「スイートルージュ」の開花・生育特性は、「アーリー・ホワイト」とほぼ同じです（表1）。

3. 栽培利用上の留意点

「紀州ピー2号」は早い冬咲き品種なので、7日前後の種子冷蔵が最適です。また、「スイートルージュ」は遅い冬咲き品種なので、21日程度の冷蔵が必要です。

4. おわりに

和歌山県のオリジナルスイートピー品種は結婚式シリーズとして、淡い花色を生かした結婚式のブーケやテーブルフラワー等への利用が期待されます。

（育種部 花田 裕美）

表1 「紀州ピー2号（キャンドル・ピンク）」と「スイートルージュ」の生育・花色特性

品種名	収穫 開始日 (月日)	初収穫 節位 (節)	収穫 本数 (本)	切り ^{a)} 花長 (cm)	着花 輪数 (輪/本)	花色 ^{b)}	
						旗弁 (No.)	翼弁 (No.)
紀州ピー2号	1/18	29.4	23.4	44.7	3.9	紫ピンク (9703)	淡紫ピンク (9702)
スイートルージュ	2/20	50.8	22.7	46.1	3.7	鮮紫ピンク (9204)	淡紫ピンク (9202)
マッカーサー	1/21	42.6	21.6	46.2	3.2	鮮ピンク (0104)	ピンク (0104)
アメリカン・ビューティー	1/25	32.0	23.0	40.4	3.7	濃赤 (0408)	鮮紫赤 (9707)
アーリー・ホワイト	2/11	40.3	24.8	42.0	5.3	黄白 (2701)	黄白 (2701)

耕種概要：は種日：2001年9月10日、種子冷蔵期間：0日間、日長：自然、最低夜温 5℃、1株仕立て、株間15cm、条間60cmの2条植え、施肥：和歌山県栽培指針に従う

a): 開花5番目の花柄長 b): JHSカラーチャートに従う

